

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	中澤雄一
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3326	
事務事業名		4093 広域老人ホーム運営事業										
所 属		100300 健康福祉部・高齢者福祉課										
施 策		01020400 高齢者福祉の充実										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費										
	事業	050000 広域老人ホーム運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
ひとり暮らしや認知症になっても、相談できる場所が近くにあり、必要な時に必要なサービスが利用でき、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、長野広域内の施設整備を進める。						①長野広域連合の老人福祉施設管理費負担金 (人口割90%+均等割10%) 毎年負担 ②老人ホーム入所判定委員会費負担金 (人口割90%+均等割10%) 毎年負担 ③養護老人ホーム「松寿荘」(長野市上野)増築工事基金償還負担金(H26~H35年度まで)負担率8.9% ④養護老人ホーム「はにしな寮」(坂城町)増築工事基金償還負担金(H29~H38年度まで)負担率8.7% 長野広域内の施設整備により居住環境の向上が図られる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
長野広域連合における介護保険施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金並びに養護老人ホーム松寿荘運営費負担金を支払った。	長野広域連合における介護保険施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金並びに養護老人ホーム松寿荘運営費負担金を支払った。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
長野広域連合における介護保険施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金を支払う。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位 人
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	長野広域連合への負担金であり適する指標がないため					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		2,793	5,391
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,793	5,391
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	721.9	721.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	721.9	721.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,514.9	6,112.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,793	長野広域連合特別養護老人ホーム負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,391	長野広域連合特別養護老人ホーム負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、長野広域内の施設整備を進めている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	・長野広域内の施設整備を進めることにより、高齢者が必要な時に必要なサービスを利用し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	・事業の性格上、コスト削減等は困難。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

・長野広域連合特別養護老人ホーム負担金の支払いを行った。
--

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
長野広域内の施設整備及び共同事業等に対し負担金を支出することで、住み慣れた地域で安心して暮らすための環境を整備することができる。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
自立が難しい高齢者の住まいを確保するために不可欠な施策であり、今後も継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	